

県指定 天然記念物

洞明寺のナギ



県南地方では最も古い寺とされている洞明寺の境内にあり、樹高は約13m。地上6～7mから幹が分かれ、上方は十数本に枝分かれし、樹勢は旺盛である。雌株で、結果期には多くの球果をつける。朝鮮の役に出兵の際、佐伯藩祖毛利高政の家臣が持ち帰り、植樹したと伝えられている。